

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
46	大気汚染に係る健康障害者に対する医療費助成事務

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

東京都知事は、個人番号を利用するに当たり、特定個人情報の不適正な取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組むことを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

東京都知事

公表日

令和7年7月10日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	大気汚染に係る健康障害者に対する医療費助成事務
②事務の概要	<p>・大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例(昭和47年10月26日条例第117号。以下「条例」という。)に基づき、大気汚染に係る健康障害者に対し、条例第2条に係る医療に要した費用の助成を行っており、条例及び大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例施行規則(昭和47年10月26日規則第257号。以下「規則」という。)に基づき認定審査を実施している。</p> <p>・条例及び規則に基づき、医療費助成の認定を受けた大気汚染に係る健康障害者に対し、医療費を助成している。</p> <p>・特定個人情報ファイルは、規則の規定に従い、認定審査の際の、健康保険証資格情報の確認に使用している。</p> <p>・情報提供ネットワークシステムから、申請書類に係る情報の一部(住民票情報及び健康保険証資格情報)を取得する。</p> <p>・申請書類は、市町村における東京都の事務処理の特例に関する条例(平成11年東京都条例第107号)の規定に基づき、市町村の窓口で收受し、東京都保健所へ進達する。</p> <p><Public Medical Hub(PMH)を活用した情報連携に係る大気汚染に係る健康被害者に対する医療費助成事務></p> <p>・情報連携のため、本都は、Public Medical Hub(PMH)へ本事務に係る対象者の個人番号を含む他使用者情報、公費資格情報の紐付け及び登録を行う。</p> <p>・都民は、マイナポータルを介して、自身の本事務に係る公費医療費助成の資格情報の取得/閲覧が可能となる。</p> <p>・都民が、医療機関受信時に公費医療費助成の給付を受ける際に、従来の紙の受給者証に代えて、マイナンバーカードをオンライン資格確認端末で用いることにより、資格情報を医療機関が取得/閲覧することが可能となる。</p>
③システムの名称	<ul style="list-style-type: none">・大気汚染障害者認定審査会情報支援データベースシステム・住民基本台帳ネットワークシステム(東京都サーバー)・団体内統合利用番号連携サーバー・中間サーバー・情報提供ネットワークシステム・Public Medical Hub(PMH)
2. 特定個人情報ファイル名	
大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する認定情報ファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	<ul style="list-style-type: none">・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第19条第6号・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例案(第4条及び別表第一の8)(案)・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例施行規則案(第8条)(案)・市町村における東京都の事務処理の特例に関する条例
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	<p>[実施する]</p> <p><選択肢> 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定</p>
②法令上の根拠	番号法第19条第9号
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	保健医療局健康安全部環境保健衛生課
②所属長の役職名	環境保健事業担当課長

6. 他の評価実施機関	
社会保険診療報酬支払基金(支払基金)	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	西多摩保健所(〒198-0042 青梅市東青梅1-167-15)電話番号0428(22) 6141 南多摩保健所(〒206-0025 多摩市永山2-1-5電話番号)042(371) 7661 多摩立川保健所(〒190-0023 立川市柴崎町2-21-19)電話番号042(524) 517 多摩府中保健所(〒183-0022 府中市宮西町1-26-1)電話番号042(362) 2334 多摩小平保健所(〒187-0002 小平市花小金井1-31-24)電話番号042(450) 3111
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	西多摩保健所(〒198-0042 青梅市東青梅1-167-15)電話番号0428(22) 6141 南多摩保健所(〒206-0025 多摩市永山2-1-5電話番号)042(371) 7661 多摩立川保健所(〒190-0023 立川市柴崎町2-21-19)電話番号042(524) 517 多摩府中保健所(〒183-0022 府中市宮西町1-26-1)電話番号042(362) 2334 多摩小平保健所(〒187-0002 小平市花小金井1-31-24)電話番号042(450) 3111
9. 規則第9条第2項の適用 [<input type="checkbox"/>]適用した	
適用した理由	

II しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人が	[1万人以上10万人未満]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和7年3月31日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人未満]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和7年4月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
<p>[基礎項目評価書]</p> <p>2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。</p>		<p><選択肢></p> <p>1) 基礎項目評価書</p> <p>2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書</p> <p>3) 基礎項目評価書及び全項目評価書</p>
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
<p>目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か</p>	<p>[十分である]</p>	<p><選択肢></p> <p>1) 特に力を入れている</p> <p>2) 十分である</p> <p>3) 課題が残されている</p>
3. 特定個人情報の使用		
<p>目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か</p>	<p>[十分である]</p>	<p><選択肢></p> <p>1) 特に力を入れている</p> <p>2) 十分である</p> <p>3) 課題が残されている</p>
<p>権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か</p>	<p>[十分である]</p>	<p><選択肢></p> <p>1) 特に力を入れている</p> <p>2) 十分である</p> <p>3) 課題が残されている</p>
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 []委託しない		
<p>委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か</p>	<p>[十分である]</p>	<p><選択肢></p> <p>1) 特に力を入れている</p> <p>2) 十分である</p> <p>3) 課題が残されている</p>
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) [○]提供・移転しない		
<p>不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か</p>	<p>[]</p>	<p><選択肢></p> <p>1) 特に力を入れている</p> <p>2) 十分である</p> <p>3) 課題が残されている</p>
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 []接続しない(入手) [○]接続しない(提供)		
<p>目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か</p>	<p>[十分である]</p>	<p><選択肢></p> <p>1) 特に力を入れている</p> <p>2) 十分である</p> <p>3) 課題が残されている</p>
<p>不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か</p>	<p>[]</p>	<p><選択肢></p> <p>1) 特に力を入れている</p> <p>2) 十分である</p> <p>3) 課題が残されている</p>

7. 特定個人情報の保管・消去	
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> [十分である] <div style="text-align: right;"> <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている </div> </div>
8. 人手を介在させる作業 [] 人手を介在させる作業はない	
人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> [十分である] <div style="text-align: right;"> <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている </div> </div>
判断の根拠	<p>マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインに従い、マイナンバー登録の際には、本人からのマイナンバー取得を原則とした上で、住基ネット照会により記載されたマイナンバーの真正性確認を行うこととしている。また、大気汚染健康障害者の認定に係る事務では、上記のほか、下記の局面で特定個人情報の取扱いに関して手作業が介在する作業を行う場合は、複数人での確認を行うようにしており、人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分であると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人番号及び本人情報が記載された申請書の進達 ・申請書に記載された個人番号及び本人情報の大気汚染障害者認定審査会情報支援データベースシステムへの入力 ・個人番号及び本人情報の大気汚染障害者認定審査会情報支援データベースシステムからのデータ抽出、外部記録媒体へのデータ書込み、外部記録媒体の発送・運搬、大気汚染障害者認定審査会情報支援データベースシステムへの結果入力 ・個人番号及び本人情報が記載された申請書の保管、廃棄

9. 監査	
実施の有無	[<input type="radio"/>] 自己点検 [<input type="checkbox"/>] 内部監査 [<input type="checkbox"/>] 外部監査
10. 従業者に対する教育・啓発	
従業者に対する教育・啓発	<div style="text-align: right;"><選択肢></div> <div style="text-align: right;">1) 特に力を入れて行っている</div> <div style="text-align: right;">2) 十分に行っている</div> <div style="text-align: right;">3) 十分に行っていない</div> [<input type="checkbox"/> 十分に行っている]
11. 最も優先度が高いと考えられる対策 [<input type="checkbox"/>]全項目評価又は重点項目評価を実施する	
最も優先度が高いと考えられる対策	<div style="text-align: right;">[8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策]</div> <選択肢> <ol style="list-style-type: none"> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業者に対する教育・啓発
当該対策は十分か【再掲】	<div style="text-align: right;"><選択肢></div> <div style="text-align: right;">1) 特に力を入れている</div> <div style="text-align: right;">2) 十分である</div> <div style="text-align: right;">3) 課題が残されている</div> [<input type="checkbox"/> 十分である]
判断の根拠	<p>本事務においては、申請を受け付け認定を行うにあたり、市町村・東京都保健所・保健医療局健康安全部環境保健衛生課と複数の部署で媒体の保管・移動や手続きが行われることから、特に漏えい、滅失、毀損リスクが大きい。そのため、情報セキュリティ規程及び特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドラインに則り、漏えい・滅失・毀損を防ぐための物理的、技術的安全管理措置を講じるとともに、特定個人情報ファイルの滅失・毀損が万一発生した場合に備え、バックアップを保管している。また、特定個人情報を含む書類は、施錠できる書棚等に保管することを徹底し、不要文書を廃棄する際は、特定個人情報が記録された書類等が混入していないか、複数人による確認を行ったことを確認することを徹底する運用としている。これらの対策を講じていることから、特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は「十分である」と考えられる。</p>

